



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月11日

上場会社名 ダイコク電機株式会社
コード番号 6430 URL <http://www.daikoku.co.jp>

上場取引所 東 名

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 栢森 秀行

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理統括部長 (氏名) 丹羽 時重

TEL 052-581-7111

四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日

配当支払開始予定日

平成25年12月3日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	25,882	△6.4	2,487	△31.0	2,559	△31.3	1,543	△28.7
25年3月期第2四半期	27,665	△1.5	3,603	70.1	3,725	80.2	2,162	100.9

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 1,551百万円 (△28.3%) 25年3月期第2四半期 2,165百万円 (98.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	104.38	—
25年3月期第2四半期	146.30	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%		
26年3月期第2四半期	48,611		30,955		63.7	
25年3月期	56,706		30,439		53.7	

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 30,955百万円 25年3月期 30,439百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	20.00	—	70.00	90.00
26年3月期	—	20.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	30.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	51,000	△13.4	4,000	△43.0	4,000	△44.8	2,000	△51.9	135.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期2Q	14,783,900 株	25年3月期	14,783,900 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

26年3月期2Q	488 株	25年3月期	488 株
----------	-------	--------	-------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期2Q	14,783,412 株	25年3月期2Q	14,783,545 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想に関しては、添付資料3ページの「1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報.....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報.....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報.....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報.....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項.....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動.....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用.....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示.....	3
3. 四半期連結財務諸表.....	4
(1) 四半期連結貸借対照表.....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書.....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間.....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間.....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記.....	8
(4) セグメント情報等.....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記.....	9

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、経済政策により企業の業況判断や雇用情勢は改善されるなか、設備投資や個人消費は持ち直しの動きが見られ、デフレ状況から緩やかに回復しつつあります。

当社グループが携わる余暇産業であるパチンコ業界におきましては、まだ波及効果は出てきておらず、パチンコ遊技機では、依然として4円貸しパチンコの稼動が低下しており、顧客であるパチンコホールでは、厳しい状況が続いております。

このような市場環境のなか、情報システム事業におきましては、ファンに向けたホール環境の遊技性向上を目指した情報公開機器「B i G M O」や「I L - X」の拡販とCRユニット「V E G A S I A」の販売強化に努めました。また全国主要都市において展示会「M I R A I G A T E 2 0 1 3～次世代エンターテイメント・ホールづくりの新基準～」を開催し、多くのホール関係者が来場され、高く評価をいただきました。制御システム事業におきましては、「顧客への貢献」を目指して、演出ユニットの企画提案活動や、グループ会社を含めた開発ラインの増強を図り、企画開発力強化に取り組みました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高258億82百万円（前年同期比6.4%減）、営業利益24億87百万円（同31.0%減）、経常利益25億59百万円（同31.3%減）、四半期純利益15億43百万円（同28.7%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(情報システム事業)

当事業の第2四半期連結累計期間は、ホール店舗システムと一体となりセキュリティや効率的な運用を評価されたCRユニット「V E G A S I A」及び遊技台の多様なゲーム性をファンに分かりやすく伝える情報公開機器「B i G M O」や多彩なイルミネーションの呼出ランプ「I L - X」等が引き続き市場に評価されました。また、M I R A I G A T E ネットワークを活用したホール支援サービス「C IIスタンダード」もサービス内容の充実を図り顧客満足度の更なる向上を図りましたが、新製品リリースにより大きく売上を伸ばした昨年実績には及びませんでした。

この結果、当事業の売上高は155億62百万円（前年同期比6.9%減）、セグメント利益は29億50百万円（同26.8%減）となりました。

(制御システム事業)

当事業の第2四半期連結累計期間は、企画提案力の強化、及びグループ会社との融合による開発ラインの増強に努めました。

この結果、当事業の売上高は103億20百万円（前年同期比5.7%減）、セグメント利益は5億8百万円（同7.5%減）となりました。

(注) セグメントの業績の金額には、セグメント間取引が含まれております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、主に仕入債務の減少や法人税等の支払による現預金の減少、前第3、4四半期連結会計期間に比べ当第2四半期連結累計期間において売上が低調に推移したことによる受取手形の減少により、前連結会計年度末に比べ80億94百万円減少の486億11百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末の負債は、主に前第3、4四半期連結会計期間に比べ当第2四半期連結累計期間において仕入計上が少なかったことによる仕入債務の減少及び未払法人税等の減少により、前連結会計年度末に比べ86億11百万円減少の176億55百万円となりました。

当第2四半期連結会計年度末の純資産は、配当金の支払より当四半期純利益が大きかったことによる利益剰余金の増加により、前連結会計年度末に比べ5億16百万円増加の309億55百万円となり、自己資本比率は63.7%（前連結会計年度末比10.0ポイント上昇）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成26年3月期の通期の業績予想につきましては、平成25年5月13日発表の業績予想に変更はありません。なお、業績等に影響を与える事業等のリスクについては、最近の有価証券報告書（平成25年6月28日提出）により開示を行った内容から重要な変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,506,088	13,318,352
受取手形及び売掛金	11,538,600	9,846,376
商品及び製品	5,670,199	5,114,298
仕掛品	126,550	54,565
原材料及び貯蔵品	2,851,110	3,208,483
繰延税金資産	487,980	127,587
その他	676,944	820,074
貸倒引当金	△67,660	△46,602
流動資産合計	39,789,814	32,443,135
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,316,498	4,167,680
土地	4,220,795	4,220,795
その他(純額)	969,029	891,524
有形固定資産合計	9,506,323	9,280,000
無形固定資産		
ソフトウェア	1,617,077	1,508,204
その他	135,762	125,022
無形固定資産合計	1,752,839	1,633,226
投資その他の資産		
繰延税金資産	2,464,963	2,135,597
投資不動産(純額)	971,415	964,442
長期預金	600,000	500,000
その他	1,874,733	1,895,931
貸倒引当金	△253,494	△240,485
投資その他の資産合計	5,657,618	5,255,485
固定資産合計	16,916,781	16,168,712
資産合計	56,706,595	48,611,848

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,137,268	13,297,627
1年内返済予定の長期借入金	399,866	399,866
未払法人税等	2,731,980	300,398
役員賞与引当金	178,884	134,413
その他	3,096,633	2,060,238
流動負債合計	24,544,634	16,192,544
固定負債		
長期借入金	870,133	600,200
退職給付引当金	248,091	246,293
役員退職慰労引当金	370,617	385,607
その他	233,784	231,214
固定負債合計	1,722,627	1,463,315
負債合計	26,267,261	17,655,859
純資産の部		
株主資本		
資本金	674,000	674,000
資本剰余金	680,008	680,008
利益剰余金	29,079,569	29,587,772
自己株式	△945	△945
株主資本合計	30,432,632	30,940,835
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,701	15,153
その他の包括利益累計額合計	6,701	15,153
純資産合計	30,439,333	30,955,988
負債純資産合計	56,706,595	48,611,848

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	27,665,742	25,882,630
売上原価	18,557,574	17,703,598
売上総利益	9,108,168	8,179,031
延払販売未実現利益戻入	9,188	12,617
延払販売未実現利益控除	24,005	—
差引売上総利益	9,093,350	8,191,648
販売費及び一般管理費	5,490,263	5,704,071
営業利益	3,603,087	2,487,576
営業外収益		
受取利息	5,757	3,393
受取配当金	6,035	5,984
不動産賃貸料	36,431	36,275
その他	117,237	60,338
営業外収益合計	165,460	105,992
営業外費用		
支払利息	13,510	3,422
支払手数料	8,016	8,000
不動産賃貸費用	21,437	21,983
その他	43	487
営業外費用合計	43,007	33,894
経常利益	3,725,541	2,559,674
特別利益		
固定資産売却益	840	—
関係会社株式売却益	40,630	—
負ののれん発生益	2,685	—
その他	114	—
特別利益合計	44,270	—
特別損失		
固定資産除却損	2,031	25,410
投資有価証券評価損	—	19,999
減損損失	103,136	—
その他	15,130	—
特別損失合計	120,298	45,410
税金等調整前四半期純利益	3,649,513	2,514,264
法人税、住民税及び事業税	1,684,008	286,075
法人税等調整額	△200,594	685,148
法人税等合計	1,483,413	971,223
少数株主損益調整前四半期純利益	2,166,100	1,543,041
少数株主利益	3,313	—
四半期純利益	2,162,786	1,543,041

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,166,100	1,543,041
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,007	8,452
その他の包括利益合計	△1,007	8,452
四半期包括利益	2,165,092	1,551,493
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,161,779	1,551,493
少数株主に係る四半期包括利益	3,313	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	情報システム事業	制御システム事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	16,718,363	10,947,379	27,665,742	—	27,665,742
セグメント間の内部売上高 又は振替高	6,383	612	6,995	△6,995	—
計	16,724,746	10,947,991	27,672,738	△6,995	27,665,742
セグメント利益	4,030,313	549,108	4,579,422	△976,334	3,603,087

(注) 1 セグメント利益の調整額△976,334千円には、セグメント間取引消去△854千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△975,480千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「制御システム事業」セグメントにおいて、今後利用計画のない遊休資産について、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、減損損失として、特別損失に計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては、103,136千円であります。

II 当第2四半期連結累計期間（自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	情報システム事業	制御システム事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	15,562,503	10,320,126	25,882,630	—	25,882,630
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	15,562,503	10,320,126	25,882,630	—	25,882,630
セグメント利益	2,950,413	508,012	3,458,425	△970,848	2,487,576

(注) 1 セグメント利益の調整額△970,848千円には、セグメント間取引消去1,387千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△972,235千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。